授業評価アンケート（学生対象）

全学FD委員会では、2000年度から学生による授業評価アンケートを試行し、2004年度からは、施行時の設問項目を見直したうえ刷新して本実施とした。2014年度にはそれまでの設問項目と内容の見直し作業を行い、2015年度から改定後の新項目により実施している。
アンケートの結果は担当教員にフィードバックするとともに、学内専用サイトに開示しており、授業の方法や内容等の改善への活用が期待される。

学部	時期	実施科目数		
		2023年度	2024年度	2025年度
薬学部	前期	51	59	56
	後期	46	42	41
歯学部	前期	54	50	43
	後期	51	49	37
看護福祉学部	前期	92	83	91
	後期	81	85	73
心理科学部	前期	42	48	47
	後期	46	54	49
リハビリテーション科学部	前期	95	98	100
	後期	91	83	88
医療技術学部	前期	49	46	51
	後期	38	42	42
計	前期	383	384	388
	後期	353	355	330
大学合計		736	739	718
歯科衛生士専門学校	前期	15	17	17
	後期	27	26	28

授業評価アンケートの結果（過去3か年）

評価：1.強くそうは思わない　2.そうは思わない　3.どちらともいえない　4.そう思う　5.強くそう思う

	2023年度		2024年度		2025年度	
自己評価	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1　この授業に費やした自己学習時間は、週に1時間未満(1)、1時間以上～3時間未満(2)、3時間以上(3)	1.56	1.57	1.57	1.58	1.62	1.63
2　自分はこの授業に意欲的に取り組んだ。	3.96	4.04	3.97	4.05	4.04	4.05
3　この授業を受けるために、シラバスを有効に活用した。	3.54	3.67	3.57	3.71	3.68	3.69
4　シラバスで求める授業の履修目的を達成できた。	3.79	3.92	3.81	3.96	3.90	3.93
5　授業により、新しい知識、考え方、技能を修得でき、さらに勉強したくなった。	4.02	4.12	4.02	4.13	4.10	4.12
授業について						
1　授業はシラバスにそって体系的に行われていた。	4.11	4.23	4.13	4.26	4.21	4.23
2　教員の情熱が伝わった。	4.28	4.39	4.28	4.41	4.34	4.37
3　授業での声の聞きやすさ、板書やスライドの文字等の見やすさは適切だった。	4.19	4.31	4.21	4.31	4.26	4.29
4　授業は、理解しやすいよう工夫され、わかりやすく進められた。	4.20	4.31	4.20	4.32	4.26	4.29
5　テキスト、プリント、スライド、IT機器などを適切に利用し、理解に役立った。	4.25	4.36	4.26	4.35	4.31	4.32
6　教員は、学生の質問（授業時間外を含む）・発言等に適切に対応した。	4.24	4.34	4.23	4.35	4.29	4.32
7　授業は適切な速さで行われた。	4.21	4.33	4.23	4.35	4.27	4.30
8　適切に授業外学習（レポート、宿題、自習）などを課した。	4.15	4.27	4.15	4.26	4.23	4.24
9　学んだ分野や関連する分野への関心が広がる授業であった。	4.20	4.31	4.21	4.33	4.27	4.29
10　価値のある授業であった。（総合的に良い授業であった。）	4.27	4.38	4.28	4.39	4.34	4.35
※11と12は教員の自由設問のため割愛						

（全学部平均／自由意見を除く）